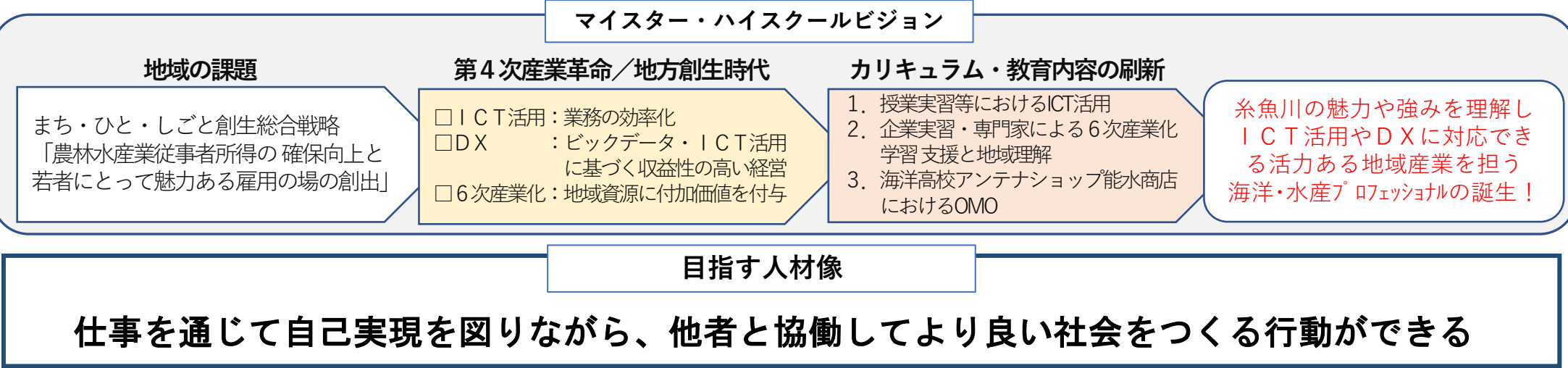
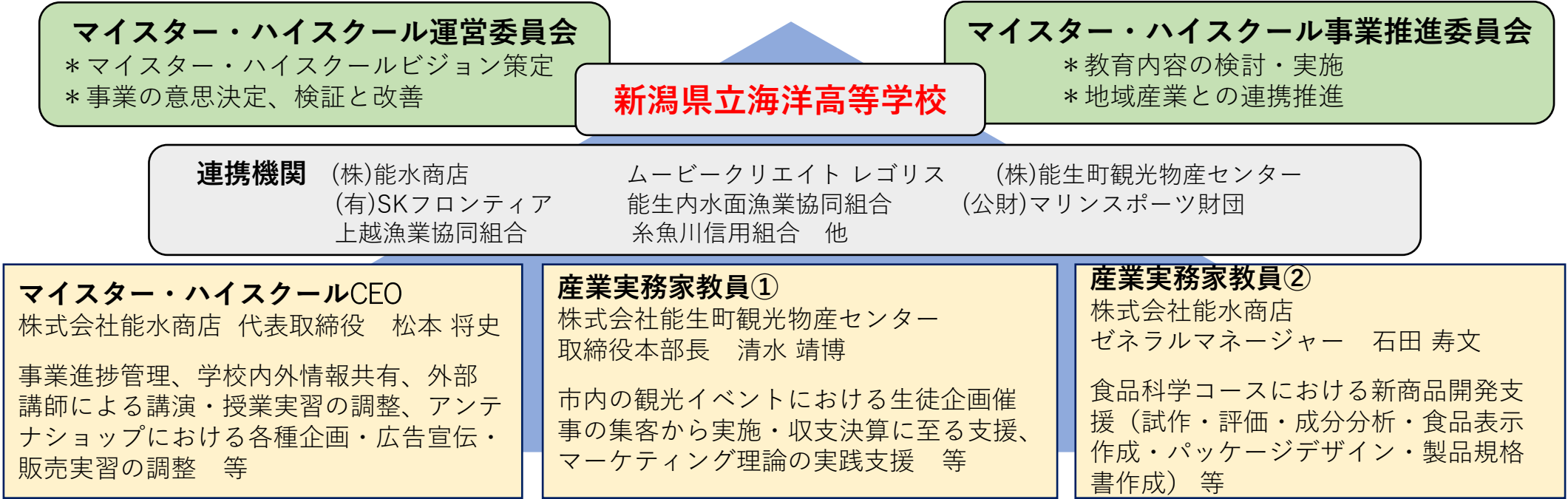


未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築

令和5年度目標：事業効果検証と「マイスター・ハイスクール」の自走化



【実施体制】



# 未来を担う海洋・水産プロフェッショナル人材育成システムの構築

令和5年度目標：事業効果検証と「マイスター・ハイスクール」の自走化

## 学校設定科目「地域探究」 水産科目「海洋情報技術」

### ICT活用能力育成、地域と6次産業化の 理解、アントレプレナーシップの涵養



地元金融機関による授業



世界ゾウパーク学習



地元企業インターンシップ



ビジコンを取り入れた授業



マリンスポーツ体験



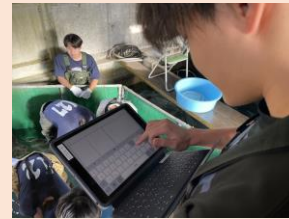
海洋情報技術検定受検

## 学校外部と連携した教育プログラム

### 主な実践例



市民参加型の竹炭眼泊放流  
(能生内水面漁業と連携)



ICTによる個体別養殖管理  
(有)SKフロンティアと連携)



アкваボックスの社会教育向け展示  
(上越市立水族博物館と連携)



実習漁獲物のインターネット販売  
(株)能水商店と連携)



商品開発  
(株)能水商店と連携)



マリンスポーツイベントによる観光誘客  
(一社)マリンスポーツ財団と連携)

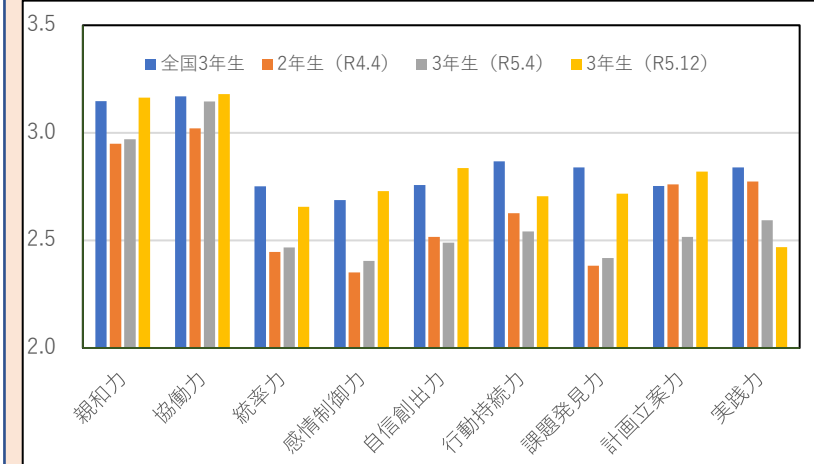
## 事業効果検証

### マイスター・ハイスクール自己評価

マイスター・ハイスクールビジョンに定めた人材像にどれだけ近づけているかを「ICT活用」「地域理解と6次産業化・観光誘客」「新潟海洋高校アンテナショップの活用」の3領域における生徒の自己評価で把握した結果、事業開始後全ての領域において自己評価が上がった。

### 資質・能力を評価するアセスメント「学びみらいPASS」

リテシーの4つの力（情報収集力・情報分析力・課題発見力・構想力の4つの力）の着実な伸長とコンピテンシーの8つの力（親和力・協働能力・統率力・感情抑制力・自信創出力・行動持続力・課題発見力・計画立案力）の3年次における著しい伸長が確認できた。



令和5年度3年生の本事業期間中のコンピテンシーの変化（5点満点）

## 成果と課題

- 【成果】① マイスター・ハイスクール自己評価により、地域資源に顧客視点で付加価値をつけて産業振興を図る知識や技術が習得され、その意欲も向上したことが確認できた。  
② アセスメント「学び未来PASS」により、主に3年次の知識や技術を応用する実践的な教育プログラムがコンピテンシーの伸長に大きく寄与することが認められた。  
③ 本事業の実施前後（令和2年度と令和5年度）で卒業生の水産・海洋関連産業への就職率が48%から62%に、水産・海洋関連分野への進学率が49%から64%に上昇し、関連産業への人材供給が促進された。

- 【課題】① 教育プログラムの効果的な運用の推進 → 教員同士が対話を重ねてより良い教材やその提供方法を求め続ける学校文化を醸成  
② 本事業で確立した人材育成システムを維持するための人材や財源の確保 → 関係者が引き続き持続可能な在り方について検討